

2018年6月17日

第230号 発行 嶋田住建

もっと住まいを快適に 住まいる通信

シリーズ リフォーム塾

住まいの寿命を伸ばしましょう

日本で新築された住宅は何年で解体されているかご存知ですか？四十年？五十年？とんでもないです。平均三十年だそうです。

アメリカは百年、イギリスはなんと百四十年だそうです。アメリカの住宅はツーバイフォー工法で日本と同じ木質住宅なのに、なぜ寿命が倍以上も違うのでしょうか？

最近では住宅ローンを長期で利用される方が多くなりましたし、少子高齢化も益々進みますので、日本の住宅の寿命は今までより少し延びるかもしれません。



まだまだ十分使えるのに、それを処分して新しい物を買ってしまう。自動車がそうですよね。人よりいい物を所有したいという願望があると思います。

●間取りが生活に合わなくなってきた使いづらい

●設備を含めて家が古くなってきた夏涼しく冬暖かい、性能のいい家に住みたい

このような理由で、まだ十分使える家を解体して建て替えをするケース

が多いようです。

日本の住宅の寿命は二十五年だとよく言われてきました。これは二十五年経ったら家が朽ち果てるのではなく法的耐用年数の事です。

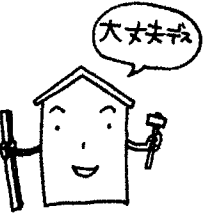
つまり新築後二十五年たつと資産価値がほとんどなくなるといふ事です。皆様が乗っている自動車もそうです。走行距離にもよりますが、五年から七年乗った車を買替え時に下取りに出すと、ほとんど値段がつかないですよ。

まだまだ走れるのにもつたない話です。そうしないと新しい物が売れなくなるからでしょう。

住宅の寿命は半永久です

ちゃんとメンテナンスをしていたければ、住宅の寿命は半永久とオヤジは考えます。過度のメンテナンスは必要ありません。不具合が出たら修理する。壊れたり腐食したら交換をするという考え方でいいと思います。

ただ残念な事があります。住宅の設備機器でたとえば外釜やコンロなどは昔の商品の方が耐久性があったと思いませんか？

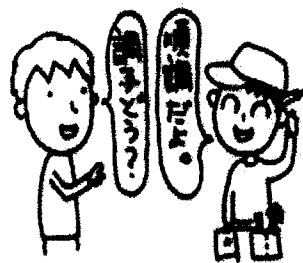


最近の家は丈夫にできているので、メンテナンスやリフォームをしていただく事で長く快適に住んでいただけます。建替えより安くできます。

オヤジ日記

オヤジが駆け出しの頃

先日リフォームをさせていただいたお客様の近くにオヤジが初めて現場監督をした家があります。この会社の話です。もう建てないだろうと行ってみると、なんと！建てていました。古い造成地で、現在は住宅がたくさん建っています。当時は一件も建っていません。雑草をなぎ倒しながら、竹が芽を出して穴だらけのアスファルト道路を走って現場に行った記憶があります。思ったより状態はいいですが、残念ながら表札の名前が替わっていました。



当店のお客様をご紹介いたします

- 東金市I様 浴室リフォーム他 工事費▼二百万円
- 東金市I様 塗替他 工事費▼百万円
- 大網白里市Y様 内部全面リフォーム 工事費▼七百万円



ありがとうございました

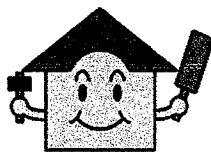
メンテナンス・リフォーム・増改築・新築
お住まいに関する事でしたらどのような事でも
お気軽にご相談してください

ご相談・見積は無料です

メールお待ちしております
yuyuoyaji@docomo.ne.jp

ホームページも見てください

<http://shimadajuuken.web.fc2.com/>



おかげさまで地元で34年

わくわくリフォームショップ

(株) 住まい工房 嶋田住建

建設業許可 千葉県知事登録(般-27)第50159号
特定非営利活動法人 住まいの構造改革推進協会正会員2-0305号

東金市油井188-61(ニュータウン丘の街内)

0120-910-720

TEL:0475-52-4037

営業時間:8:00~22:00